

校長室だより第31号（令和7年11月7日）

先週は小倉小学校の児童約780人のうち100人以上がインフルエンザに罹患し、7学級が学級閉鎖となりました。職員も体調を崩すものが多く、私も1日お休みをいただきました。

年を重ねたからなのか、騙し騙し出勤したせいなのか、1週間たっても体がだるい状態が続いています。早く全快して、子どもたちともっと遊びたいと思っています。

子どもたちの体調ですが、3連休を挿んで、良化の傾向にあります。油断は禁物ですが、欠席者が減ってきており、一安心です。

私が体調を崩している間にも、たくさんの行事や出来事があり、このコラムで書きたいことは山ほどあります。少し時計の針を戻して記します。

学校だよりも記しましたが、秋休みには「小倉小地区第3回秋まつり」が小倉台公園で行われました。雨天のため順延となりましたが、次の日には雨も上がり、無事に開催することができました。午前中には子どもたちが「山車」を引き、「神輿」を担ぎました。子どもたちは神輿保存会の皆様を中心とした地域の皆様に見守られながら、1時間以上をかけて小倉の街を練り歩きました。「わっしょい わっしょい」と神輿を担ぐ子どもたち、交通安全や子どもの体力を気にしながらともに歩く地域の方、途中途中の休憩場所で飲み物を用意してくださっている地域の方、沿道から子どもたちを応援する地域の方などたくさんの人たちの融合が秋祭りを作り上げていることを大変うれしく思いました。

その2週間後には本校でPTA主催による「おぐらっ子まつり」が開催されました。こちらも雨のために残念ながら室内での開催となりました。雨天のために発表できなくなってしまった団体にはご迷惑をおかけしました。

体育館だけでなく、理科室や家庭科室等を利用して、ゲームやくじ引き、バザー品の販売などが行われました。どの部屋も熱気いっぱい、子どもたちは大いに満足したようです。

「秋祭り」も「おぐらっ子まつり」も地域の皆様、PTAの皆様が、子どもたちを楽しませるために尽力くださったおかげで無事開催することができました。子どもの時の良い思い出

は、彼らが大人になっても心に残り、それはやがて地域の子どもたちのために還元されると
思います。小倉の街のさらなる発展のためにもこれらの行事が末永く続くことを期待します。
地域の皆様、PTA の皆様、ありがとうございました。